

# ABeam Security® プライバシーデータ利活用セキュリティ評価

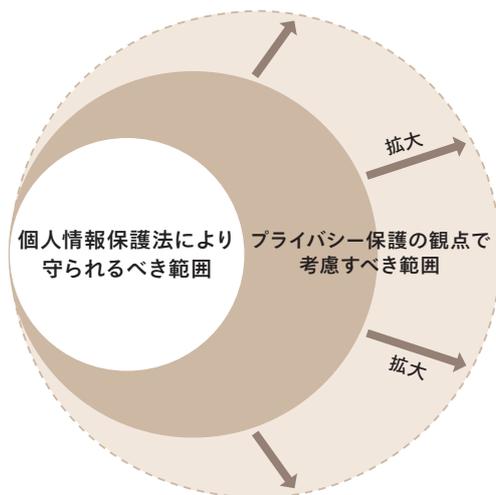
トラブルの実例等をもとに法律・倫理面での対応状況を評価・分析することで、企業におけるデータ利活用の促進、ビジネスの発展に寄与

昨近のデジタルテクノロジーの目覚ましい発展により、企業は消費者のプライバシーに関する様々なデータが収集可能となっています。企業間の生存競争に打ち勝つためには、プライバシー関連データを利活用した革新的な製品・サービスの提供や新たなビジネス機会の創出が必要不可欠です。一方、プライバシーデータの利活用には法規制への準拠ならびに倫理面の配慮が必要となります。アビームコンサルティングは、各種法規制ならびに消費者感情の配慮不足によるトラブルの実例をもとに、プライバシーデータの利活用に係る企業の法律・倫理面への対応状況を可視化することで、安心してデータ利活用を推進するための組織態勢の構築に貢献します。

## プライバシーデータの利活用における陥りやすいポイント

データを利活用する上では各種法律への準拠が必要ですが、法律への準拠のみでは対応は不十分です。企業によるDX推進を受けて、自身のプライバシーに関するデータが、十分な説明を受けないうえ、自身の知らぬ範囲で活用されるケースが増えているため、自身のデータの扱われ方に関する消費者の警戒心はかつてないほどに高まっています。よって、安心してデータ利活用を推進するためには、法律に準拠していたが消費者感情によりトラブルに追い込まれた事例を把握しておくことが必要です。

### データ利活用において考慮すべき 範囲の拡大\*



### 法律に準拠していたが 倫理の考慮が不十分でトラブルとなった事例

業界	事例	問題点と影響
運送業	助手席後部に設置された広告配信用タブレットのカメラ機能で乗客の顔写真を撮影し、性別を推定したうえ、性別に応じた広告を表示していた。	性別の推定直後に撮影データは破棄しており、撮影データと利用者情報との紐づけは一切実施していなかったが、カメラの存在や性別の推定を実施している旨についての利用者への説明が不十分であるとして、批判につながった。
レンタル業	法令に基づいた第三者提供として、消費者の個人情報を捜査当局の求めに応じ提供していた。	捜査令状はないが、捜査関係事項照会を受領していたため捜査当局へ個人情報を提供していた。その旨、利用規約への記載が不十分であるとして批判につながった。
個人	官報上に記載される破産者情報をGoogleマップ上で可視化するウェブサイトを開設した。	官報に記載されており誰でも閲覧可能な情報ではあったが、要配慮個人情報に対して広く検索性を高める行為であったため物議を醸し、最終的に当該サイトは閉鎖に追い込まれた。

※「DX時代における企業のプライバシーガバナンスガイドブック ver1.0」(経済産業省)  
(<https://www.meti.go.jp/press/2020/08/20200828012/20200828012-1.pdf>)をもとにアビームコンサルティング株式会社作成

## 企業において想定される課題

データ利活用にあたり、法律に記載のない消費者感情への配慮を検討する際は、参考となる体系的なガイドラインなどが存在しません。経験則をもとに倫理への配慮に関する対応を強化しても、網羅的な対策となっておらず、規範・法律、プロセス、人・組織、テクノロジーのいずれかで不備がある可能性があります。

<p><b>① 規範・法律</b></p> <p>直近でトラブルとなった事例はないが、倫理配慮に関する社内ルールが未整備</p> 	<p><b>② プロセス</b></p> <p>倫理配慮に関するルールはあるが、ルールに準拠するためのプロセスが未整備</p> 	<p><b>③ 人・組織</b></p> <p>ルール、プロセスは整備されているが、従業員への教育が不十分で役割も不明確</p> 	<p><b>④ テクノロジー</b></p> <p>ルール、プロセス、体制は整備されているが、人の目視に依存しておりミスの懸念がある</p> 
--	---	---	--

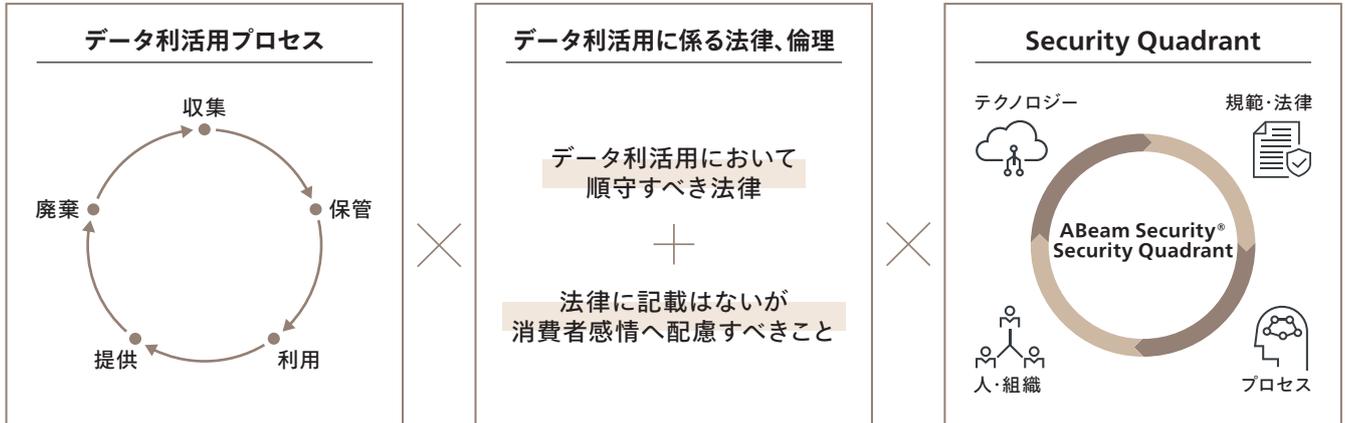
## サービスの概要

データ利活用に係る各種法律ならびに消費者感情への対応状況を、トラブルの事例をもとに評価・分析し、課題を明らかにすることで、盤石なデータ利活用態勢の構築に寄与します。これにより、消費者感情の軽視によるサービス廃止リスク・風評リスクを低減しつつ、データ利活用の促進による企業収益拡大に貢献します。

## アビームコンサルティングの提供価値

### ① 倫理軽視によるトラブルの実例をもとに評価

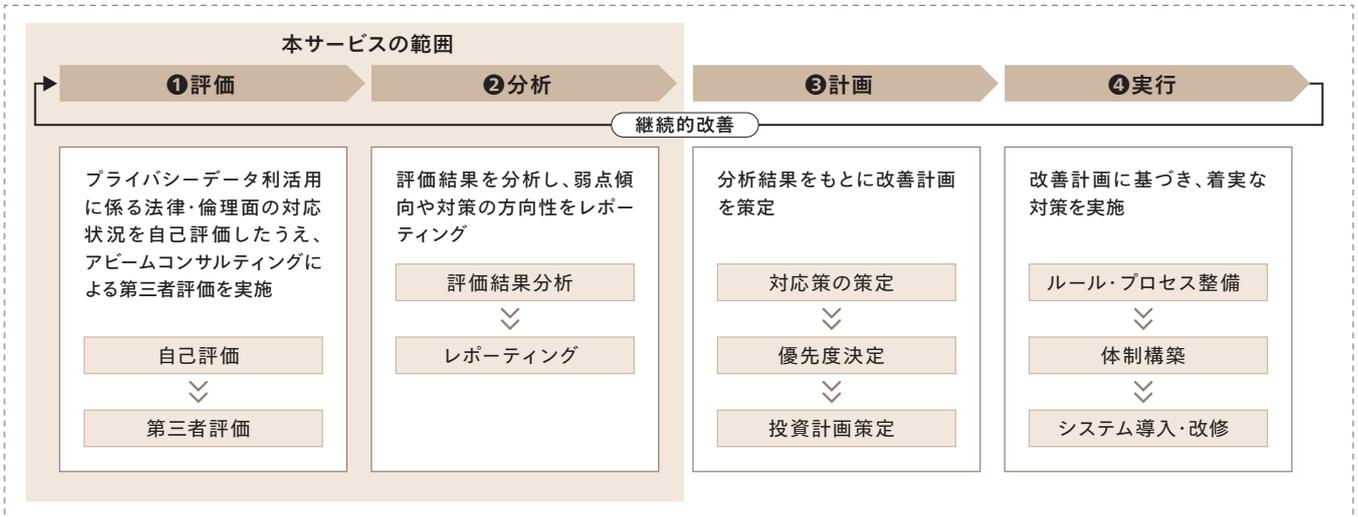
アビームコンサルティングは、消費者感情の軽視により批判やサービス停止に追い込まれた実例をベースとすることで、法律やガイドラインを参照するのみでは抽出できない観点での評価が可能となります。さらに、規範・法律、プロセス、人・組織、テクノロジーの観点を網羅することにより、抜け目のない評価が可能となります。



### ② 評価のみで完結するのではなく、リスク低減策の策定、対策実施まで支援

アビームコンサルティングでは、データ利活用に係る法律・倫理への対応状況の評価・分析にとどまらず、分析結果をもとにした対応策の策定～改善策の実行までトータルのサポートすることで、絵にかいた餅で終わらない、真に実のあるリスク低減・データ利活用の促進を実現可能です。

## ABeam Security支援範囲



【想定期間の目安】 ①評価、②分析：2ヶ月～(整備状況を含む現況により変動)

## Before/After比較

本サービス導入前は、データ利活用に係る法規制・倫理上のリスク管理が不十分であるため、思わぬ箇所ですべてリスクが顕在化し業務遂行上の足かせとなる懸念があります。本サービスを活用することで、当該リスクをコントロール可能となるため、安心してデータ利活用を推進可能となります。

